

Title	Comparison between steroid pulse therapy alone and in combination with tonsillectomy for IgA nephropathy
Author(s)	越智, 文美
Journal	2013
URL	http://hdl.handle.net/10470/30335

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2797 号	氏 名	越智 文美
審 査 委 員 会	主 査 教 授	新田 孝作	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本研究の目的は、IgA 腎症に対する扁桃+ステロイドパルス療法(TSP)とステロイドパルス療法(SP)の治療効果を比較することである。</p> <p>対象は 26 例の TSP 群と 15 例の SP 群で、3 回目のパルス終了 1 年後の尿蛋白寛解(尿蛋白 0.3g/g・Cr 未満)率と血尿寛解(尿中赤血球 5 個/視野未満)率を比較した。臨床所見及び Oxford 分類による組織所見について、寛解率に影響を及ぼす因子を検討した。</p> <p>血尿寛解率は SP-G に比し TSP-G で有意に高かった(80.0 % vs. 33.0 %, Log rank test; P=0.0053)。蛋白尿および血尿両方の完全寛解率も SP-G に比し TSP-G で有意に高かった(65.0 % vs. 13.3 %, Log-rank test; P=0.0029)。Cox 回帰分析用いた全症例の完全寛解に寄与する因子の検討では、非扁桃に比し扁桃は、尿所見寛解に対して 12.1 倍寄与する因子であった。</p> <p>本研究における扁桃+パルス療法とステロイドパルス療法の間の腎生存率に関する違いは、併用療法による血尿寛解率の上昇の結果と考えられる。IgA 腎症に対する扁桃パルス療法は、腎予後を改善する可能性がある。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			